



# グローバルに活躍する技術者を目指して

FUJITSU × LPI-JAPAN

## 認定が広げる技術者の可能性 システムの現場で活躍できる人材の育成を進めます。

富士通株式会社  
ソフトウェアプロダクト事業本部 本部長 藤原 隆 氏

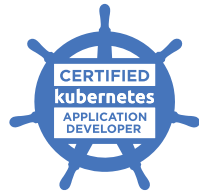
ソフトウェア技術者認定制度として2002年に開始した「富士通ソフトウェアマスター」は、2017年にOSS-DBを、2021年にCKA/CKADを認定資格に加えました。認定を取得することで、専門技術者としてグローバルで幅広く活躍できる可能性が広がります。2022年度は、OSS-DB認定者数においてGold・Silver共に1位をいただくことができました。今後は社内のみならず、パートナー企業の皆さんへの取得機会を支援するなどしながら、お客様システムの構築・運営・保守の現場において活躍できる人材の育成をさらに進めます。



OSS-DB技術者認定



認定Kubernetes管理者 (CKA)



認定Kubernetes  
アプリケーション開発者 (CKAD)



石田 清一 氏 1987年入社  
ソフトウェアプロダクト事業本部  
ソフトウェアサポート技術統括部 第三サポート技術部  
お客様サポートの品質向上のためOSS-DB GoldとLinuCを取得しています。双方の認定の学びを生かして、多角的な視点を持って課題解決に当たれるようになりました。



今井 良一 氏 2017年入社  
ソフトウェアプロダクト事業本部  
データマネジメント事業部 第二開発部  
OSS-DB Goldで学ぶ内容は、PostgreSQLに関する開発や顧客対応で直面する問題の範囲を扱っており学ぶ価値があります。取得後は、業務が進めやすくなったと実感しています。



サルバドール ミッコチノ 氏 2019年入社  
ソフトウェアプロダクト事業本部  
アプリケーションマネジメント事業部 第一開発部  
CKAとCKADは、Kubernetesの管理者またはアプリケーション開発者が行うタスクの実行を求める実用的な認定です。知識のギャップを埋めることができ、確かな専門性の証明になります。

